公表 事業所における自己評価結果

事業所名 OZデイからつ

公表日 2025年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	日により差があるが、利用者が多い日を 考えると適切とはいえない(設備も不十分)	今年度スペースを広げています。 今後も様子をみながら対応したいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	人数により差があるが(保育やケアの内容にもよる)適切とは言えないことがほ とんど	配置基準は満たしていますが、利用者様の人数に対 して十分とは言えない場合がありますので、今後も スタッフ数を増やしたいと思っています。
整備	3	エカエ 間は、ことでにわかりですく構造化された場場になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされて	4	1		構造化はしていませんが、それぞれの方 にあわせた環境になるよう努めていま す。
	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	1		明確にPDCAサイクルと提示して行ってはいませんが、話し合いや情報共有の中で自然と行えていると考えています。
業務	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会 を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	連携なし	評価を基に業務改善や情報の取り扱いな ど、変更、確認などを行っています。
改善	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげ ているか。	3	0	連絡体制なし	第三者評価は行っていません。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人 内等で研修を開催する機会が確保されているか。	0	4		研修は個人で参加してもらっていますOZ 内での職種別会議には可能な時に参加し ています。
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと 保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支 援計画を作成しているか。	3	0		保護者様からのご意見と利用者様の日常 の様子、スタッフからの意見をもとに計 画書を作成しています。
	9	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任 者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下 で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	10	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が 行われているか。	4	0		計画書は会議の中で共有しています。
	11	フォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	5	0		
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		設定しています。
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	0		固定化しないよう、保育士さんを中心に 工夫されています。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		計画書に個別と集団を明確に記載してい ない方もいますが、計画書に書かれた支 援の方針に沿って、集団、個別活動を 実施しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる 支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支 援を行っているか。	3	0		1日の流れを朝確認し、役割分担も可能 な限り行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われ た支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		必ず行えない日もありますが、時間がとれる時や会議の時に振り返って、意見の 共有、次回への反映を行っています。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	0	3		記録は必ずとっています。
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0		定期的に行っています。

関係機関や		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との 会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している か。	6		職員の参画は未定	
関係機関や		か。	6	_		
関係機関や	20		6			
関係機関や	20		•	0		
関係機関や	20	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、				指示書やご家族様を通して主治医の意見や
関係機関や		保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えて				指示内容の確認を行っています。関係機関
関係機関や		いるか。	5	1		とは直接連携をとることが多いです。
関係機関や						
関係機関や		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン				併行利用は一事業所だけで解決できる地
関係機関や	21	推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所				域課題ではなく、地域全体での認識の変
機関や		や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間				化、受け入れたい体制の拡充、制度の充
関や		で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		実等が必要と考えています。
45						
ゃ	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との 間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				直接お話出来る機会に情報交換を行って
			2	1		います。
保一				-		V.6.3%
護	22	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等				
者	23	へ積極的に参加しているか。				777 Tr. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.
ا ع			3	1		管理者が参加しています。
		 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて				
	24	スーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
連		スーパーパースで助音等を支げる機会を設けているが、。	3	0		なかなか機会がありません。
携						
	25	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他				 地域の園と交流する機会を設けていま
		のこどもと活動する機会があるか。	1	2		す。
<u> </u>			1			9 0
	26	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の				
		状況や課題について共通理解を持っているか。				送迎、お迎えの際にお話しし、状況や発
			2	1		達上の次の課題などを共有しています。
		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援				
	27	プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加で				
		きる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
	28	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説				
		明を行っているか。	0	3		
 				,		
	20					モニタリングにて、ご希望や発達状況や
	29	の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、		_		ライフステージを鑑みたお話をさせて頂
_		こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	0		いています。
		 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切				
	30	に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				相談には随時対応し、可能な限りのアド
			5	0		バイスが行えるようにしています。
		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等				
保	21	により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をして				
護	31	いるか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の				
者		支援をしているか。	5	0		
^						
の	32	整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れ				 対応し、全てのスタッフに周知するよう
説		があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	4		にしています。
明				7	SNSでの発信けたり	120 2014 9 8
	22	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用するこ			SNSでの発信はあり	
等	33	とにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこども	_			
L		や保護者に対して発信しているか。	5	0		
						個人情報は保護者様に確認し、意に反す
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。				る利用がないよう、個人情報の漏洩がな
			1	4		いように取り扱っています。
						視線入力などの機器の使用や可能な意思
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため 				表示の方法をスタッフ間で共有していま
		の配慮をしているか。	5	1		す。
H				+ -		, ,
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業				
	30	運営を図っているか。	-	_		
			6	0		
		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュア				
		ル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知				作製し、研修や訓練も各職種を中心に
		するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	3		行っています。
		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生				
	38	に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている				避難訓練や災害、避難に関する学習を
		か。	5	0	I	行っています。

非常時等の対応		39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を 確認しているか。	5	0	
	等	40	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	
		41	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策に ついて検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットを1か月ごとにまとめ、全 員で共有、改善策を話し合っています。
	•	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な 対応をしているか。	5	0	
	•		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	身体拘束を行う際は必ず説明と同意書に サインを頂いています。現在児童さんに 拘束が必要な方はいません。